

第8回大橋川景観アドバイザー会議

議事要旨

【日時・場所】

日 時 : 平成27年2月4日(水) 14:00~17:00
場 所 : 島根県民会館303会議室

【出席者】

大橋川景観アドバイザー会議委員

飯野委員、足立委員、井ノ上委員、片寄委員、松本委員、吉田委員、
舛田委員

オブザーバー

島根県 平田河川課長

松江市 井上河川課長(代理:河川課 石倉主幹)

事務局

出雲河川事務所

【議事次第】

開 会

挨拶(出雲河川事務所長)

委員紹介

座長挨拶

議 事

閉 会

【配布資料】

議事次第

席次表

資料-1 権太夫川水門整備説明資料

資料-2 上迫子川水門・排水機場整備説明資料

【議事要旨】

①権太夫川水門整備について

《庇の形状》

- ・庇の部分に面取りのような感じで柔らかい印象を出した方が良い。
- ・庇の下と壁面を三角形でつなぐ感じはどうか。
- ・三角形にするのであれば、庇の厚さは 300mm から 400mm 程度までが良い。

→庇の下を三角形状にしたものを検討する。

《外壁デザイン》

- ・石張り模様は唐突な印象。はつり模様の方が違和感が少ない印象。
- ・石張り模様の場合、目地が大きく目立つのではないか。
- ・化粧型枠の石張りであれば、目地部分は大きく目立つものではないので、事務局提案どおりが良い。

→外壁デザインは事務局案の通りとする。

《窓の配置》

- ・特に異論なし。

→窓の配置は事務局案の通りとする。

《その他》

- ・権太夫川の由来については、ある程度内容を整理して、来訪者に分かるようにしておいたほうが良い。(ストーリーも景観の重要な要素である。)
- ・事務局より提示されたイメージパースでは、ゼブラ帯になっている水門上下流の三角形の余剰地について、景観上配慮されることが望ましい。
メンテナンスを考えると、石張りや石のマウンドが良い。また、来訪者が座ったりできる空間があると良い。

→堤防天端は、将来市道として占用される予定であり、道路管理者と今後協議を行っていく。

②上迫子川水門・排水機場整備について

《外壁デザインの組合せ》

- ・数多くのパターンが考えられるが、事務局より提案されているものの中から選ぶとすれば、この組み合わせが良い。

→外壁デザインの組合せは事務局案の通りとする。

《デザインの上下区分位置》

- ・上下区分の位置としては、概ね建物高さの1／3ぐらいが自然な印象である。
 - ・区分位置が3700mm（区分位置⑤）では少し高すぎる印象があるが、2500mm（区分位置③）では低すぎる印象。
 - ・ダクトが隠れるくらいの高さを1つの目安とすべき。
- 上下区分位置は、3000mmと3700mmの間とし、次回の会議にて2案程度パースを作成し、区分位置を検討する。

《庇の形状》

- ・屋根や庇の「際」をきちっと分けた方が良い。
 - ・イ案の形状を基本として、庇を400mm－300mmの2段で分けたものでパースを描いて欲しい。
- 庇を2段にしたパースを作成し、次回の会議で提示する。

《窓の形状・配置》

- ・特に意見なし。
- 窓の形状については、事務局案の通りとする。

《ラインの配置》

- ・建築設計においては、今回事務局提示のように、窓部分に目地の交点を配置する事例も多い。
- ラインの配置については、事務局案の通りとする。

《水門のデザイン》

（※事務局より補足説明）

- ・水門の下部は化粧型枠のはつり模様、上部はライン無しの打ちっぱなしを考えている。
 - ・水門の下部は化粧型枠のはつり模様、上部はライン無しの打ち放しが良い。
 - ・はつりの目の大きさは視点場からの見え方にもよると思う。実物のはつり模様を比較したい。
- 外壁デザインについては事務局案（補足説明）の通りとするが、はつりの目の大きさ等についてはサンプルの作成等を含めて検討する。

以 上